

平成 29 年 7 月 18 日
土木部都市局下水道課
直通：029-301-4684

県内の下水処理場における脱水汚泥等の放射能濃度
及び放射線量率の測定結果について

平成 29 年 4 月から平成 29 年 6 月にかけて下記のとおり測定を行いましたところ、この期間中に発生している脱水汚泥等の放射能濃度及び下水処理場の放射線量率は前回と同程度の数値であり、大きな変動はありませんでした。

なお、このことから現在発生している脱水汚泥等については、全ての処理場で処分できております。

記

	県下水処理場における脱水汚泥等の放射能濃度	県下水処理場における放射線量率	公共下水道における脱水汚泥の放射能濃度
対象処理場	県下水処理場 8 処理場	県下水処理場 8 処理場	7 市町 1 団体 10 処理場
測定日	平成 29 年 4 月 5 日(水)から 6 月 13 日(火)	平成 29 年 4 月 6 日(木)から 6 月 13 日(火)	平成 29 年 4 月 11 日(火)から 6 月 15 日(木)
測定機関	茨城県流域下水道事務所	各処理場	茨城県流域下水道事務所
測定機器	ガンマ線スペクトロメータ NaI(Tl) 検出器	NaI シンチレーションサーベイメータ (アロカ社製)	ガンマ線スペクトロメータ NaI(Tl) 検出器
測定高さ		地上 1 m	
結果	別添 表 1 のとおり	別添 表 2 のとおり	別添 表 3 のとおり

表 1 県下水処理場における脱水汚泥等の放射能濃度

(単位：Bq/kg)

処理場名	試料名	今回公表値			前回公表値
		92 回目 (6/7, 13)	91 回目 (5/10, 16)	90 回目 (4/5, 11, 12)	87～89 回目
		放射性 セシウム	放射性 セシウム	放射性 セシウム	放射性 セシウム
深芝処理場	脱水汚泥			不検出	不検出
	焼却灰	不検出	不検出	不検出	不検出
那珂久慈浄化センター	脱水汚泥	不検出	不検出	不検出	不検出
	焼却灰	200	350	170	210～290
霞ヶ浦浄化センター	脱水汚泥	不検出	不検出	不検出	不検出
	焼却灰	140	140	197	89～160
利根浄化センター	脱水汚泥	不検出	不検出	不検出	不検出
	焼却灰	120	130	110	99～120
潮来浄化センター	脱水汚泥	不検出	不検出	不検出	不検出
きぬアクアステーション	脱水汚泥	不検出	不検出	不検出	不検出
さしまアクアステーション	脱水汚泥	不検出	不検出	不検出	不検出
小貝川東部浄化センター	脱水汚泥	不検出	不検出	不検出	不検出
<ul style="list-style-type: none"> ・放射性ヨウ素(I-131)については半減期が短いこと(約 8 日), 県内のモニタリングポストにおいて大きな変動が見られないことから未測定 ・放射性セシウム : Cs-134, Cs-137 の合計 ・括弧内は試料採取日 ・深芝処理場の脱水汚泥は直接処分しないため, 過去 3 月以上不検出の場合は 3 ヶ月に 1 回の測定とする 					

表 2 県下水処理場における放射線量率

(単位：μSv/h)

処理場名	測定日	バック グラウ ンド ^{注1)}	敷地 境界 (風下)	事務室 (室内)	脱水機 管理室 (室内)	焼却炉 管理室 (室内)	焼却炉 ^{注2)}	市町村 線量 ^{注3)}
深芝処理場	前回 ^{注4)}	0.05	0.05	0.05	0.07	0.07	0.07	0.042
	4/14	0.04	0.05	0.06	0.06	0.06	0.07	0.043
	5/12	0.04	0.05	0.05	0.07	0.07	0.06	0.044
	6/5	0.04	0.05	0.05	0.07	0.07	0.07	0.044
那珂久慈浄化センター	前回 ^{注4)}	0.10	0.10	0.11	0.10	0.10	0.09	0.068
	4/11	0.11	0.14	0.11	0.11	0.11	0.11	0.065
	5/9	0.11	0.17	0.10	0.12	0.09	0.10	0.068
	6/13	0.11	0.11	0.11	0.11	0.10	0.10	0.068
霞ヶ浦浄化センター	前回 ^{注4)}	0.10	0.10	0.09	0.08	0.10	0.07	0.057
	4/13	0.10	0.10	0.09	0.09	0.09	0.07	0.057
	5/11	0.10	0.10	0.08	0.08	0.10	0.07	0.057
	6/7	0.09	0.10	0.08	0.08	0.10	0.07	0.058
利根浄化センター	前回 ^{注4)}	0.14	0.10	0.09	0.07	0.07	0.05	0.052
	4/13	0.15	0.10	0.09	0.07	0.07	0.06	0.051
	5/11	0.14	0.12	0.09	0.09	0.09	0.04	0.052
	6/9	0.14	0.11	0.10	0.08	0.08	0.05	0.052
潮来浄化センター	前回 ^{注4)}	0.08	0.08	0.10	0.06			0.039
	4/6	0.11	0.10	0.10	0.07			0.038
	5/12	0.09	0.09	0.11	0.07			0.039
	6/8	0.09	0.09	0.10	0.06			0.040
きぬアクアステーション	前回 ^{注4)}	0.07	0.07	0.08	0.07			0.050
	4/10	0.07	0.08	0.08	0.08			0.047
	5/8	0.08	0.07	0.08	0.08			0.049
	6/6	0.07	0.07	0.08	0.07			0.046
さしまアクアステーション	前回 ^{注4)}	0.08	0.08	0.06	0.09			0.042
	4/10	0.06	0.06	0.06	0.09			0.041
	5/8	0.07	0.09	0.06	0.08			0.042
	6/6	0.07	0.06	0.05	0.09			0.042
小貝東部浄化センター	前回 ^{注4)}	0.07	0.07	0.06	0.11			0.062
	4/10	0.07	0.07	0.06	0.12			0.061
	5/8	0.07	0.06	0.07	0.10			0.062
	6/6	0.06	0.08	0.06	0.11			0.063

注 1) 汚泥処理施設から十分離れた地点

注 2) 焼却施設から風下 1m の地点

注 3) 市町村線量は、各処理場所在市のモニタリングポストの測定データとした(測定日時：県測定日の 9:00 原子力規制委員会ホームページ放射線モニタリング情報より)

注 4) 前回公表値は、平成 29 年 1 月から 3 月の測定結果の平均値。

表3 公共下水道における脱水汚泥の放射能濃度

(単位：Bq/kg)

市町村名	処理場名	試料名	今回公表値			前回公表値
			83回目 (6/12, 13, 14, 15)	82回目 (5/15, 18)	81回目 (4/10, 11, 13)	78～80回目
			放射性 セシウム	放射性 セシウム	放射性 セシウム	放射性 セシウム
水戸市	水戸市浄化センター	脱水汚泥			不検出	不検出
	内原浄化センター	脱水汚泥	不検出			不検出
日立市	池の川処理場	脱水汚泥		不検出		不検出
北茨城市	浄化センター	脱水汚泥	不検出			不検出
笠間市	浄化センターともべ	脱水汚泥	不検出			不検出
	浄化センターいわま	脱水汚泥	不検出			不検出
ひたちなか市	下水浄化センター	脱水汚泥	不検出	不検出	24	不検出
茨城町	茨城町浄化センター	脱水汚泥	不検出			不検出
城里町	かつら水処理センター	脱水汚泥	不検出	不検出		不検出～36
日立・高萩広域 下水道組合	伊師浄化センター	脱水汚泥	不検出	不検出	不検出	30

- ・放射性ヨウ素 (I-131) については半減期が短いこと (約 8 日), 県内のモニタリングポストにおいて大きな変動が見られないことから未測定
- ・放射性セシウム : Cs-134, Cs-137 の合計
- ・括弧内は試料採取日
- ・過去 3 月以上不検出の場合は 3 ヶ月に 1 回の測定とする
- ・4 月分のかつら水処理センターについては, 脱水汚泥の搬出がなかったため, 測定なし。